

## 主な記事

- ・退任にあたって
- ・「男女共同参画推進 学生活動報告会」を開催しました
- ・2018年度優秀女性大学院生学長表彰最優秀賞受賞者が学長記者会見で研究を発表しました
- ・2018年度ぱるんKid's ウィンタースクールを実施しました
- ・キャリア形成支援リカレントセミナー(基礎編)(実践編)を開催しました

## 退任にあたって

岩手大学理事・副学長・男女共同参画推進室長 菅原 悦子

岩手大学は、2008年の男女共同参画推進室開設と翌2009年の「男女共同参画推進宣言（学長宣言）」を契機に、学長のリーダーシップの下、男女共同参画推進に積極的に取り組んできました。「岩手大学男女共同参画行動計画」（2013～17年度）、同計画（第2期）（2018年度～）に、「男女共同参画の視点をふまえた大学運営」を基盤に、「両立支援の環境整備」、「学生への男女共同参画の教育」、「研究における男女共同参画推進」、「男女共同参画の地域社会への発信」の4つの柱を立て、多角的・包括的に取り組を進める一方、2010年度から継続して採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業を活用し、女性研究者支援を行ってきました。大学の計画による取組と、補助事業による女性研究者支援を連携させ、互いに活かし合って、男女共同参画推進のしくみと制度をつくり、ネットワークを拡充した10年間だったと言えます。今年度末、私は大学の仕事の区切りを迎え、男女共同参画推進の取組は、次の体制に引き継がれます。新体制下で、これらのしくみ・制度、ネットワークが活かされ、性別をはじめ多様な立場の学生・教職員が学び働きやすく、力を発揮できる大学、ひいては男女共同参画推進において地域を先導する大学が実現していくことを期待します。



## 「男女共同参画推進 学生活動報告会」を開催しました



2月13日、第32回男女共同参画推進のための学習と交流の会が開催され、12名が参加しました。この会は、男女共同参画推進学生委員会（GESCO）と次世代育成サポーターの男女共同参画に関わる2つの学生活動の成果報告と交流を目的に、男女共同参画推進学生委員会（GESCO）が中心となって実施したものです。GESCO委員の進行で、2つの活動の報告と、研究発表を行いました。報告や発表は、いずれも簡潔にわかりやすくまとめられており、活発な意見交換も行われました。最後に、宮本ともみ男女共同参画推進室副室長から、「2つの学生活動の交流が今後実践に発展していけば、共に視野が広がり活動がより深まる」「大事なものは人数ではなく、男女共同参画推進や子育て支援への問題意識、当事者意識をもつ皆のような人財が育つことだ」との講評がありました。学生からは「育児に関わる男女共同参画のことなど、来年度は共同で行うことができれば」等、前向きな感想や提案が出され、GESCO委員と次世代育成サポーターが互いに学び合い、新たな展開が期待できる交流の機会となりました。

## 2018年度優秀女性大学院生学長表彰最優秀賞受賞者が学長記者会見で研究を発表しました

2月21日の岩手大学学長定例記者会見で、連合農学研究科生物生産科学専攻3年樽見恵梨奈さんが「温暖化が牧草生産性におよぼす影響のモデルによる評価」について研究発表を行いました。樽見さんは、2018年度「岩手大学優秀女性大学院生学長表彰」最優秀賞、2018年度日本草地学会熊本大会優秀若手発表賞の受賞者です。成長が期待される若手女性研究者の研究成果が、岩手大学の活動の一環として地域社会に発信されました。



# 2018年度ぱるん kids' ウィンタースクールを実施しました

岩手大学では、教職員の長期休暇中の子育て支援の取組として、2011年度より、ぱるん kids' スクールを開催してきました。今年度は12月25日・26日に開催した「ぱるん kids' ウィンタースクール」に、小学校1～3年生13名が参加しました。子どもたちは、教員、留学生、学生団体、学外団体「岩手理系女子育成研究会」の協力により提供された「理科実験」「アート」「スポーツ」「環境学習」「異文化交流」「お楽しみタイム(年賀状づくり)」のプログラムに熱心に取組みました。専門の保育スタッフとともに、次世代育成サポーターの学生6名がボランティアとして参加し、子どもの見守りや作業の補助、「お楽しみタイム」の自主企画等の活動を行いました。事後の保護者アンケートには「子どもは、大学ならではのプログラムを楽しみ、学校とは違う友達や大学生との交流にとっても刺激を受けたようだ」、「一緒に通勤し、学食で一緒に昼食をとるのも新鮮だった」等の感想が記され、好評でした。終了後1月16日に、学生や学外団体の皆さまを招いて「ありがとうの会」を開催しました。会では、協力への謝意を表すとともに、次年度に向けて意見や提案を頂き、活動を振り返りました。



## 2018年度キャリア形成支援リカレントセミナー(基礎編)(実践編)を開催しました

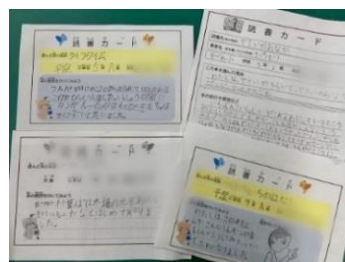
県内企業の女性従業員等を対象に、女性のリーダー育成を特色とした「キャリア形成支援リカレントセミナー」

(11/19基礎編、12/17実践編)を開催し、多様な業種、幅広い職位の女性の参加を得ました。基礎編には40名が参加し、オープニングガイダンスに続いて、ロールモデル2名をお招きして「自身のキャリアをつくり、キャリアを活かす」をテーマにパネルディスカッションを行いました。実践編は基礎編参加者21名を含む30名が参加し、前半にワークショップ「自分の『強み』の活かし方」、後半には女性研究者支援事業において効果が見られている「メンターシッププログラム」の体験版として、グループメンタリングを実施しました。県内事業所でリーダーとして活躍する女性5名をメンターに招きました。参加者からは、「成り行きでないキャリア形成を意識していきたい」、「ロールモデルをもつことの大事さを再認識した」、「業種を超えて交流できてよかった」等のコメントや取組の継続を求める声がありました。メンターからも好評でした。



## 小中学校向け 理系女性研究者 関連移動図書

男女共同参画推進室では、岩手県内の小中学校を対象に、理系女性研究者関連移動図書パッケージの貸し出し(移動図書)を行っています。取組の目的は小中学生に理系分野への興味・関心を持つ機会を提供することです。2018年度は紫波町立日詰小学校、平泉町立平泉小学校、奥州市立東水沢中学校、遠野市立遠野東中学校に貸し出し、のべ498冊の本が読まれました。小学校ではそれぞれ200冊以上の図書が読まれ、読書カードも計254枚寄せられました。また中学校の校長先生からは、謝意とともに、「生徒たちの活字離れは加速しているように感じており、この度の移動図書により、特に理系関係に興味・関心を持って



くれればと思っています。」とのメッセージが寄せられました。2019年度も引き続き貸し出しを行う予定です。

## お知らせ

### 岩手大学・岩手銀行保育所「がんちゃんすくすく保育園」

保育園と、保育園での学生の活動について、男女共同参画推進室 Web サイトで随時お知らせしています。

「がんちゃんすくすく支援 事業基金」のご案内も掲載しております。

[https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/wlb\\_hoikusho.html](https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/wlb_hoikusho.html)

**ワーク・ライフ・バランス相談** ぱるんひろば定期開放時には相談員が在室します。

**学内保育スペース「ぱるんひろば」** 随時託児利用(要登録) 定期開放 毎週金曜日 12:00～13:00

利用・登録説明会 毎月第2金曜日 12:10～50(事前申込不要) 見学も歓迎します。

**岩手大学の出産・育児・介護支援の制度** <https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/index.html>

